

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

＜学校教育目標＞

～ 夢に向かって ～

第9号

令和7年12月1日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『生徒の 生徒による 生徒のための学校』

校長 小熊 誠

不思議な冬がやってきました。半袖で過ごしていたのに、次の日にはダウンが必要と、寒暖の差の激しい日々が続いています。体調の維持が難しく、いよいよ土屋にもインフルエンザの波が押し寄せてきました。そこで、学校では手洗い・うがい、換気の徹底はもちろん、給食を食べて下校・部活動無し等の対策を取らせていただいているところです。保護者・地域の皆様もどうぞ御自愛ください。

そんな中でも生徒たちは、終盤に差し掛かっている「土屋秋の陣」を全力で戦い続け、素晴らしい輝きを放っています。春に大きな期待を残した各運動部の県新人戦。感動の渦に包まれた「文化発表会（GRB祭）」。さいたま市に「土屋有り」を示した3-5と2-5の小中音楽祭。科学展の西区代表までもう一歩だった科学部。そして、音楽の先生の関東ブロック発表会で圧倒的な存在感を示した吹奏楽部の演奏。王者の貫禄を漂わせ県大会に進んだクラリネットと打楽器のアンサンブルコンテスト。土屋の躍進は止まりません。冬季大会、西区大会、1・2年校外学習、舘岩少年自然の教室等、もうすぐ「土屋冬の陣」が開幕します。皆様、更なる土屋の進化に御期待ください。

さて、今月は、いよいよ本格的に動き出した「心染色“こんぱす”」（以下「こんぱす」）についてお知らせします。「こんぱす」は、生徒のいじめ対策委員会の進化系として本年度新たに結成されました。学校の主役である生徒たちが、土屋の主権者として、土屋の全てのことを自分事として捉え、皆にとって土屋が居心地の良い場所であり、皆が土屋を大好きになり、「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」を実現するために、今の土屋には、何が足りなくて、何が必要で、何から始めれば良いのかを、考え、実行していく土屋のど真ん中にある組織です。前期には右上の2つが提案され、話し合いが進み、生徒・教職員・学校運営協議会の皆様への説明を経て、実際に改善されたものです。「生徒の 生徒による 生徒のための学校」の記念すべき第一歩となりました。そして、11月21日(金)の学校運営協議会では、全学級のクラス討議を経て、「こんぱす」で絞り込まれた右の4つの提案が示され、「こんぱす」の新幹部4名により、説明され、学校運営協議会の皆様・各学年主任と熟議が繰り広げられました。1の提案については、個人情報が話題の中心となり、「写真ではなく、絵ならどうなんだろう」等が課題となりました。2の提案については、「読書も大切、昼休みを有効に活用するのはどうなんだろう」等が話題になりました。3の提案については、教員の働き方改革推進の中、「勤務時間の問題や、場所についての問題」が浮上してきました。4の提案については、「なぜダメなのか」という疑問に、「高い制服を着る機会が減ってしまう」「ルールがなくなる」等、活発に意見が交換されました。この4つの提案は、熟議で交わされた意見を基に、「こんぱす」で実際に実施していくためにどうすれば良いのかを、更にブラッシュアップしていきます。生徒たちが、次にどんな提案をしてくるのか本当に楽しみです。

生徒たちが、本気で考え、本気で動けば、学校は前に、前に進化していきます。生徒たちには、そんな主権者としての意識と、達成感と満足感を体験してもらいたいと思っています。それが、生徒たちを「守り 磨き 輝かせる」私たちの使命でもあります。そして、私たちの宝である生徒たちが、学校の主役から、地域の主役へ、更には、日本の世界の主役として「メガ進化」していくためには、皆様のお力が必要です。どうぞ今後とも御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくお願いいたします。

- 自動販売機の売り切れを無くして欲しい
→ 週1回業者が補充
- 2年生の廊下にウォーターサーバーを設置して欲しい
→ 11月に設置完了

1. 生徒による活動を学校のホームページに載せて欲しい
2. テスト2週間前から朝読書の時間を勉強にしたい
3. テスト期間の居残りを認めて欲しい
4. 前後の授業が体育の時はジャージをOKにして欲しい

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校